

第54回小金井市新型インフルエンザ等対策本部部会	日 時	令和3年1月19日(火) 9:45~11:00	場 所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、加藤総務部長、高橋庁舎建設担当課長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、北村議会事務局長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、廣田広報秘書課長、石原健康課長、亀山地域安全係長、近藤健康課主査、本木健康課主査			
議 題	1 新型コロナワクチン接種事業体制について 2 事業継続計画の改定について 3 各部連絡事項			
資 料	1 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた庁内体制の拡充について 2 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施に係る進捗の定期報告について 3 圏域6市の新型コロナウイルスワクチン接種に係る人員体制 4 小金井市内介護事業所における新型コロナウイルス感染について 5 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の実施について 6 新型コロナウイルスワクチン住民接種業務における業務継続計画(BCP)の確認(備え)について(案) 7 武蔵野中央病院通信 コロナ感染マニュアル			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>市長：感染は最高レベルで深刻な状況となっている。都知事要請に基づいて市民への周知と感染対策をし支援策の継続を進めていきたい。ワクチン接種については調整しているところで1/13には2回目の国説明も行われた。今週中には初動体制を構築したい。保健所業務もひっ迫している。ワクチンを最優先したい。庁内から感染者がいつ発生してもおかしくない。想定したリスク管理をしてほしい。</p> <p>健康課長：配布資料の確認</p> <p>市長：武蔵野中央病院は昨年クラスターが発生したところで、現在は落ち着いている。職員が経験したことをマニュアル化し病院ホームページにて公表されている。院長からも直接話をきいており、市としても活用していきたい。</p> <p>【新型コロナワクチン接種事業体制について】</p> <p>福祉保健部長：健康課長の意向に配慮しつつ、行政経営・職員課の人選により見守ることとしたい。国へ進捗を報告しなければならないが難航。健康課はBCPで欠けるが調整に苦慮している。</p> <p>総務部長：課題も含め体制の他市状況はどのようなか</p> <p>健康課長：他市は1月初旬から稼働している。当市だけ変化なし。総務部から1人、生涯学習から1人は認識している。情報システム経験は難航。</p> <p>総務部長：体制が組めないわけにはいかない。経験者に関わらず打診することも必要ではないか。早急に取り組まないと。13日の国説明に出席したが、進行している印象をもった。スピード感が大事。</p> <p>健康課長：12月年末からでこの状況。やり方がどうか。個別が無理なら、本部員の命令も必要か。コールセンターの契約依頼をしているが、派遣なども考えている。</p> <p>総務部長：様々な方法があると思うが直営、会計年度、委託を組み合わせることが大事。期間はいつまでか。</p> <p>健康課長：7月末まで(6か月の想定)をして個別打診していた。早く終われば戻すし、延長すれば検討。</p> <p>総務部長：滑り出しは6か月専従か。穴が開いたところは会計年度任用職員か庁内応援かで調整。</p> <p>福祉保健部長：現状のままでは健康課BCPは必要。応援体制要綱で検討中。プロジェクト設置規定で行きたい。人の手当てが無理ならBCPをしないと無理。他市はやっている。コロナ担当課長でチームを作る。(市長任命)今週中に理解いただきたい。</p> <p>都市整備部長：都市整備から出すのであれば、時間外とBCPは必要。</p>				

生涯学習部長：市民12万人が対象。1日1千人でも4か月かかる。土日やっても8か月かかる壮大な仕事。医師会や調整が多岐にわたる。短期間で行う必要があることから健康課経験者に限らず、全庁的にやっていただきたい。

議会事務局長：同意見

生涯学習部長：それぞれの部で検討が大切。総務部・生涯学習部で2人。抜けたところは会計年度で補充すればよい。

福祉保健部長：健康課に職員を含めてPT（プロジェクトチーム）を考える。

福祉保健部長：健康課で欠員となるところは会計年度対応もあり。普通退職もある。

環境部長：福祉保健部長の方向でよい。PTの形でよい。

市民部長：PTの設置要綱にそって実施でよい。

福祉保健部長：理事者の意見を。

副市長：福祉保健部で対応してほしい。

教育長：PTなら福祉保健部だけでは難しい。全体で協力して、教育委員会からも派遣できる。健康課の仕事をするのは難しいが、コロナならば様々な人選ができるのではないか。

市長：現状、時間がなく追い込まれている。他市は決まっている。PT中心で行い方向転換する。ワクチン接種は健康課中心だが、PTは全庁で協力してもらいたい。優先事項。議会でもワクチン接種の議論が多いと想定。

福祉保健部長：プロジェクト設置規定に基づき、ワクチンPTを作る。経済対策も含めたコロナ対策でワクチンだけではない。

企画政策課長：担当課長+PTでよいか

福祉保健部長：PTのリーダーは石原課長。企画も協力をお願いしたい。

【事業継続計画の改定について】

福祉保健部長：コロナ接種が始まるとBCPは必要。（市民生活に影響はあるが吟味していただきたい）発動しないと無理。3月中旬から市民接種が始まる。会場は決定していないが高齢者について考えなければいけない。医師会も協力して頂いている。4月から6月は専門職も事務職も全庁的に応援体制が必要となる。

総務部長：BCPの必要性は理解する。休止できる業務の優先順位が現状と合っていないものもある。休止できるとなると関係課の仕事も関わってくる。そういう観点もお願いしたい。

福祉保健部長：もともとBCPは4割職員が来ない想定で作成している。コロナ仕様ではない。文章を再考し発動したい。

【各部連絡事項】

学校教育部長：小中の卒業式と入学式は感染に注意しながら実施する。来賓なし、市からの派遣なし。限られた人員で短時間とする。その旨、1月15日事務連絡で通知。保護者は1人までとする。

福祉保健部長：介護事業所における感染について。介護福祉課から関係先に周知。

企画政策課長：第3次臨時交付金について。令和2年度中に申請が必要。企画まで相談を（現在2件あり）

議会事務局長：議会日程について。1/22から27まで本会議。その後2/7まで休会。2/8から再開。3月委員会は半日で短縮。一般質問は変更なし。緊急事態宣言が延長となれば再考。

総務部長：コールセンター設置時期

健康課長：2/1から電話対応としたい。公表は3/1のイメージ。契約は2/1から予定。

福祉保健部長：市長、PTは実施するが健康課事業縮小はしないでよろしいか。

市長：いくつかの相談業務をやめるのは仕方ない。がん検診・妊婦歯科は中止しない。

子ども家庭部長：ワクチンに関わらずBCPの権限は？

福祉保健部長：課長→部長→最終的には本部決定でよいのでは。中止や延期は市民おしらせが必要。

(1)庁内応援体制を作る (2)PTを作る (3)BCPを行う ことが今回の部会で決定した。内容を得た上で発令する。

市長：PT設置で決定した。検討し今週中には発動してほしい。コロナ陽性者については迅速な共有を。

以上